

報道関係者 各位

平成24年12月20日
石巻労働基準監督署
次長 佐藤 一司
安全衛生課長 洞口 宗彦
電話 0225 (22) 3365

みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動を展開中

～ルールを守って復旧・復興 絆で広げるゼロ災害～

1 建設業の労働災害増加について

石巻労働基準監督署管内では、多くの復旧・復興工事が着工している中、建設業の労働災害が増加しています(平成24年11月末現在の休業4日以上之死傷者数は114人で、平成23年比62.9%増、平成22年比225.7%増)。今後、港湾関係の工事や道路の復旧、新たな宅地の造成や災害公営住宅の建設等が本格化する中、さらなる労働災害の増加が懸念されます。

2 みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動について

(1) ゼロ災運動の展開

宮城労働局・労働基準監督署では、建設現場に対する監督指導等を重点的に行う一方、宮城県全体で、労働災害防止に向けた気運の醸成や取組を強力に推進していくことを目的に、建設業界・工事発注機関と連携しながら「ルールを守って復旧・復興 絆で広げるゼロ災害」をスローガンに、「みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動」を展開していくこととしています。

(2) ゼロ災運動の期間

平成24年12月1日から平成27年3月31日まで

(3) ゼロ災運動の取組

運動期間中、建設業界・工事発注機関・労働局や労働基準監督署が一体となり、次のような取組を行います。

ア 安全宣言活動

- 労働災害防止に向けた強いリーダーシップの促進を目的に、建設企業トップによる「安全宣言」の実施について働き掛けを行います。「安全宣言」は建設現場に掲示するほか、建設事業者団体、宮城労働局のホームページ等を通じ社外的にも情報発信を行います。
- 石巻労働基準監督署独自の取組として、各建設現場における安全意識高揚を図ることを目的とし、現場所長による安全宣言活動の実施について働き掛けを行います。
- 現場にはゼロ災運動用安全旗の掲揚を推奨し、宣言内容の遵守に向けた現場安全意識の高揚や対外的なアピールを図ります。

イ ゼロ災運動パトロールの拡充

災害防止を目的とし、県や自治体等の公共工事発注機関、建設事業者団体との合同パトロールを強化して実施します。

ウ 安全衛生教育の拡充

石巻労働基準監督署独自の取組として、労働災害防止対策をテーマとする様々な講習会を企画・開催します。

- 復旧・復興工事現場の現場代理人を対象とした講習会
- 木造家屋建築工事に従事する職人を対象とした講習会
- 建設作業に不慣れな新規参入労働者を対象とした安全衛生講習会

(4) 各建設現場での重点的な取組事項

運動期間中、各建設現場に対しては、特に、次の労働災害防止対策の確実な実施について、強力的に呼び掛けることとしています。

ア 元方事業者による連絡調整、作業場所巡視の徹底

イ 雇入れ時や、新規入場の際の安全衛生教育の徹底

ウ 墜落・転落災害を防止するための安全な足場・囲い・手すり・覆い等の設置、親綱や安全帯の使用の徹底

エ 建設重機、移動式クレーンによる災害を防止するための作業計画の作成・接触防止や転倒防止の徹底

オ 荷の落下、荷振れ等による衝突・挟まれ災害を防止するための確実な合図・安全な玉掛けや作業方法の徹底

カ 土砂崩壊による災害を防止するための作業開始前点検の励行・土止め先行工法の採用等の徹底

キ 解体工事やがれき処理を行う際の石綿ばく露防止対策の徹底